

人を対象とする医学系研究に関する情報公開

福島県立医科大学ふくしま子ども・女性医療支援センターでは、本学倫理委員会の承認を得て、下記の人を対象とする医学系研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成30年7月 福島県立医科大学ふくしま子ども・女性医療支援センター教授
高橋俊文

【研究課題名】

婦人科腫瘍におけるマイコプラズマ科細菌及びHPVの保有状況と病期進行、予後に関する研究

【研究期間】

2018年7月（承認後）～2022年3月

【研究の意義・目的】

正常な細胞が腫瘍（がんなど）に変化する原因の一つとして感染症があります。その中ではヒトパピローマウイルス（HPV）がよく知られています。また、尿道や膣にいる細菌が、妊婦さんなどには流産を引き起こすことがあります。これらの細菌が女性特有の腫瘍細胞の中に存在している可能性があり、病気の進行や治療に影響を及ぼしている可能性がわかってきました。この研究では実際にヒトパピローマウイルスや膣内等の病原細菌が子宮頸がんや卵巣がんなどの患者さんで、どの程度の割合で存在しているのかを明らかにする事を目的とします。

【研究の方法】

2000年以降2018年までに本学附属病院において、子宮頸がんや卵巣がんで手術された方の検体を用いて細菌（ヒトパピローマウイルス及び泌尿器マイコプラズマ）の遺伝子を検出します。これらの方カルテから検査や治療の結果などの情報を収集します。本研究は2022年3月31日まで行う予定です。

【研究組織】

福島県立医科大学ふくしま子ども・女性医療支援センター 教授 高橋俊文
福島県立医科大学産科婦人科学講座 教授 藤森敬也
福島県立医科大学産科婦人科学講座 准教授 渡辺尚文
福島県立医科大学産科婦人科学講座 講師 添田 周
福島県立医科大学病理病態診断学講座 教授 橋本優子
大阪母子医療センター・研究所免疫部門 部長 柳原 格
大阪母子医療センター・研究所免疫部門 研究員 吉村芳修
大阪母子医療センター・研究所免疫部門 流動研究員 西海史子
大阪母子医療センター・研究所免疫部門 研究技術員 名倉由起子
大阪国際がんセンター・婦人科 主任部長 上浦祥司
大阪国際がんセンター・婦人科 副部長 太田行信
大阪国際がんセンター・婦人科 副部長 橋本奈美子
大阪国際がんセンター・婦人科 副部長 木村敏啓

【他の機関等への試料等の提供について】

- 本研究の主管は大阪母子医療センターです。福島県立医科大学のデータは大阪府立母子医療センターに送られて解析が行われます。
- 送付先：大阪母子医療センター・研究所免疫部門 研究責任者：柳原 格
- 提供される情報：手術治療もしくは診断（生検）のために摘出した組織（子宮、卵巣など）、カルテに記載された診断や治療等の情報

- 送付方法：患者情報の匿名化を行ったデータを pdf に変換したファイルを、パスワードロックされた CD または DVD に保存したものを郵送

【研究者が保有する個人情報について】

研究者が保有する個人情報に関し、研究対象者ご本人又は代理人の方が開示、訂正、利用停止及び第三者への提供の停止等の請求を行う場合、「福島県個人情報保護条例」に基づく手続きが必要となります。なお、開示等を行う場合、請求者には文書を交付しますが、交付に係る費用（コピー代等）をご負担いただきます。

【本研究に関する問い合わせ先】

本研究に関する御質問等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧できます。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者ご本人又は代理人の方に御了承いただけない場合には、研究対象者とはせずに試料・情報の利用、提供をいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人又は代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果が既に医学雑誌への掲載や学会発表がなされている場合、データを取り消すことは困難な場合もあります。

○研究内容に関する問い合わせの窓口

〒960-1295 福島県福島市光が丘 1

公立大学法人福島県立医科大学

ふくしま子ども・女性医療支援センター 担当 高橋俊文

電話:024-547-1385 FAX: 024-547-1386

E-mail: totakaha@fmu.ac.jp

- 試料・情報を当該研究に用いられることについて拒否する場合の連絡先
同上